



日本共産党 市議会報告



2012年6月25日 第1216号
【発行】
日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心
住み続けたい浦安を



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

庁舎建設 震災復興・復興こそ最優先に 再浮上

鳥取市庁舎の新築移転 めぐり住民投票

鳥取市は5月20日の市庁舎整備をめぐる住民投票結果を受け、市が提案してきた庁舎の新築移転を断念、耐震改修を進める方針を示しました。

住民投票は、「旧市立病院跡地への新築移転」か「現本庁舎の耐震改修および一部増築」かを選ぶもの。

竹内功市長は一昨年市長選後の6月、「庁舎は耐震改修しても20年しかもたず二重投資になる」「7割を国が補てんする合併特例債が使えるうちに新築を」として、市民の声を無視して強引に新築移転に走り始めました。

これに対して「県庁は耐震改修して50年使うが市庁舎はなぜ20年か」「市庁舎を新築すれば、周辺事業、跡地開発を合わせると200億円とも言われる。合併特例債はあてにできない」「特例債を使えば借金が増える」など市民の声と反対運動が起こり、昨年8月、「市庁舎新築移転を問う市民の会」(吉田幹男会長)が、有権者の3分の1に迫る5万人の署名を添えて住民投票条例案を議会に提出。

新築派が多数を占める議会は、条例案を否決したものの、市民の声に押されて住民投票を決定しました。

日本共産党が新庁舎の規模の縮減について質したところ、「基本設計は規模の縮減も含めて検討する」ことを明らかにしました。

震災で市民の生活に大きな傷跡が残る中、小手先の見直しではなく、パブリックコメントを踏まえた抜本的な見直しを図るのは当然です。

現在浦安市は、08年度に策定した新庁舎の基本設計の見直しと、一時中断によって残した作業を開始しています。今後は、東日本大震災の経験を基に防災拠点機能を更に検証し、庁舎機能、規模、設備について詮索して基本設計を完了する計画です。

震災前の07年11月に実施された新庁舎のパブリックコメントには、107人から234項目の意見が寄せられ、そのうち市長提案どおりの建て替え案に賛成はわずか6件、全体の2・5%にすぎませんでした。

まだ築38年の本庁舎

条件なし賛成 わずか2.5%

「2012年度予算に盛り込まれた新庁舎建設の再開」について、「道路のガタガタも直っていないのになぜ?」「震災復興が先では?」などと、懸念する声が続いています。

消費税増税に頼らない 社会保障充実 財政再建の道

ムダ使いなく3・5兆円
余裕ある富裕層・大企業負担で8~11兆円
能力に応じて所得税で6兆円

日本共産党
衆議院比例代表
南関東ブロック予定候補

元参議院議員
畑野君枝



【庁舎建設基金】2012年度末82億円に

一時中断の要因は 変わらぬ

新庁舎建設の一時中断の主な要因は、百年に一度の世界的な金融不況と言われたリーマンショック後の経済状況の不透明さと政局の不安定など先が見えない社会情勢があげられていますが、その認識について、市長は今でも変わっていないことを3月議会で明らかにしています。

震災復興財源の 確保は不透明

復興財源の市の考え方について

- ① 公共施設等の復旧事業費を適正に見積もること
- ② 国費等の導入を最大限に図ること
- ③ 適正な範囲で地方債の活用を図ることが基本的必要であるとしています。

更に

- ④ これまで以上に行政改革に臨むこと

- ⑤ 事業の見直しや統合あるいは廃止することとして20%の削減
- ⑥ 受益者負担の見直しなどを行うこととして、介護保険料の値上げを

実行し、国民健康保険料の値上げを検討しています。

庁舎建設基金が、12年度末に82億円になる見込みですが、液状化対策事業の市の財政負担は、地方債と一般財

減を加えると約130億円にもなります。また、社会資本整備交付金等の国費は今後要望していくもので申請がいつになるかの目途さえたえず、財政確保が心配です。慎重に見通しがはっきりするまで庁舎建設に踏み切るべきではありません。

液状化対策事業	
学校施設液状化対策事業 ほか2事業	約16億円
道路液状化対策事業 ほか3事業	約77億円
港・鉄鋼通り地区接続道路 整備事業 ほか3事業	約4億円
市街地液状化対策事業 ほか1事業	約1億円
下水道液状化対策事業 ほか1事業	約143億円
浦安絆の森整備事業 ほか1事業	約4億円
合計 17事業	約248億円 (端数調整)

液状化対策事業 財源内訳	
復興交付金	約54億円
社会資本整備交付 金等の国費	約50億円
災害復興特別交付 税	約14億円
地方債	約96億円
一般財源	約34億円
合計	約248億円

2012年6月10日(日)13:00～ 放射線量測定 浦安市 東野アビーコート前公園 (通称:タイヤ公園) 単位: μ Sv/h									
場所	RADI	TERRA (黒)	TERRA (黄)	Mr.Gam ma	RADEX 1008	RADEX 1503	SW83A	AIR COUNTER	SOEKS
公園向って左のベンチ手前座面上	0.212	0.19	0.2	0.166	0.17 (β 7)	0.22	0.14	0.2	0.28
公園向って左のベンチ手前座面下	0.197	0.2	0.21	0.269	0.2	0.3	0.24	0.27	0.21
遊具と丸ベンチの間の水たまり	0.203	0.15	—	0.18	0.17	0.19	0.12	0.09	—
次回測定会 : 7月1日 15時30分 高洲中央公園 管理棟前 集合									